

## 世界に先行する中国の 5G 計画

株式会社クララオンライン  
コンサルティングチーム

### <要約と結論>

中国の通信キャリア 3 社が 5G の商用化計画を加速している。各社とも複数都市で 5G ネットワークの敷設に着手しており、2018 年下半年には商用化を前提とした屋外での実用化試験が始まる。国際規格の発表を機に、チップや端末製品等の本格的な産業化がスタートする見通しで、2020 年のサービス開始に向け順調に進展している。

### 1. 5G 規格まもなく公表

中国で 5G(第 5 世代移動通信システム)の商用化に向けた試験が繰り返されている。5G への期待は大きく、「4G は生活を変え、5G は社会を変える」と言われる。2018 年 5 月 21~25 日に韓国・釜山市で開かれる 3GPP(移動体通信システムの仕様作成団体)の会合において、5G の国際標準規格が確定する予定で、6 月には規格に準拠したチップや端末製品、関連システム等の産業化がスタートする見通しだ。

### 2. 中国の 5G 計画の進捗は

国家発展改革委員会は、中国聯通(チャイナユニコム)、中国電信(チャイナテレコム)、中国移动(チャイナモバイル)の 3 社に対し、一部都市での 5G 試験用ネットワークの敷設を許可している。3 社の進捗状況を確認しよう。

#### ● 中国聯通

中国聯通は 2018 年中に 5G のネットワーク試験に着手し、2019 年に試験的な商用化を実現、2020 年には一般契約者向けの 5G サービスをスタートする計画だ。2018 年 2 月の第 1 回臨時株主総会では、2019 年第 1 四半期(1-3 月)には 5G サービスが開始できるが、システムやネットワークの調整等が必要となるため、本格的なサービス開始は 2019 年下半年になるとの見解を明らかにしている。



同社は 2018 年 4 月時点で、瀋陽、青島、北京、天津、上海、福州、深セン、杭州、南京、雄安、鄭州、成都、重慶、武漢、貴陽、広州の 16 都市での試験実施を申請し、許可を受けている。上海、深セン、貴陽などではネットワークの構築が完了しており、特に貴陽の試験では下り最大 1.8Gbps の通信速度を確認し、平均でも 1.7Gbps 以上が出ていると公表している。

#### ● 中国電信

中国電信は 2017 年 8 月に雄安の雄県でモデルネットワークの構築を宣言しており、こちらにも 2019 年に商用化試験、2020 年のサービス開始を目標としている。すでに雄安に続いて、深セン、上海、蘇州、成都、蘭州の 6 都市で 5G の試験ネットワークの構築が完了しており、各都市に基地局を 6~8 カ所用意して主に 3.5GHz のネットワーク試験を進めている。ネットワークはスタンドアローン(SA) を優先して採用する方針で、華為(HUAWEI)とは商業聯合イノベーションセンターを立ち上げて動画配信やクラウドといったサービスへの応用を研究中だ。

#### ● 中国移動

中国移動は中興(ZTE)と共同で 2017 年 6 月に広州に中国初の 5G 商用試験基地局を開設している。2018 年中に大規模な試験を行う計画があり、杭州、上海、広州、蘇州、武漢の 5 都市では、各都市に 100 を越える基地局を建設して屋外試験を実施する。また北京、雄安、天津、福州、重慶、成都、南昌、南寧、深セン、鄭州、瀋陽、蘭州の 12 都市では 5G を応用したサービスの試験が計画されている。

このほか、2018 年末ごろをめどに同社の規格に合致する 5G チップを発表し、2019 年上半年には 5G 対応のスマートフォンやデータ端末等を発表する計画がある。

- 本レポートに含まれる情報は一般的なご案内であり、包括的な内容であることを目的としておりません。また法律・条令の適用と影響は、具体的な状況によって大きく変化いたします。具体的な事業展開にあたってはクララオンライン コンサルティングサービスチームより御社の状況に特化したアドバイスをお求めになることをおすすめいたします。また本書の内容は 2018 年 5 月 21 日時点で編集されたものであり、その時点の法律及び情報、為替レートに基づいています。

本書はクララオンライン コンサルティングサービスチームにより作成されたものです。クララオンラインの中国、台湾、韓国、シンガポールなどアジア各国のインターネットコンサルティングサービスに関するお問い合わせは以下の連絡先までお気軽にご連絡ください。

asia@clara.ad.jp または +81(3)6704-0776